

広告企画
(複数社協賛型)

経営・マネージメント層向け共同リサーチ企画

日経ビジネス
テーマリサーチSpecial



約**258万人**の日経ビジネス登録会員に向けた
ビジネス部門、バックオフィス部門の担当が答える
リード&リサーチ結果提供プラン



日経ビジネス テーマリサーチSpecialの特長



ポイント①

メディア主体の調査でテーマに沿った中立性の高い設問のため短期間でのリード取得が可能

ポイント②

意思決定社層の多い日経ビジネス電子版の会員と調査テーマに関連する記事読者を対象とした調査のため質の高いリードが期待できる

ポイント③

リード情報に調査回答内容が付与されるのでホットリードの判別が容易なデータを提供

ポイント④

リード提供に加え調査結果は二次利用可能
幅広いマーケティング活動に有効活用

調査実施イメージ

日経ビジネス電子版会員 調査テーマ記事閲覧者を中心に ターゲティング

日経ビジネス電子版内 リサーチサイトで 集計・リード取得

リードとリサーチ結果を 各社へ納品

ユーザー属性

■ 職種 ■

経営者・経営企画が約15%

■ 役職 ■

役員者が6割強

■ 従業員数規模 ■

3割超が1,000人以上の大企業で働く読者

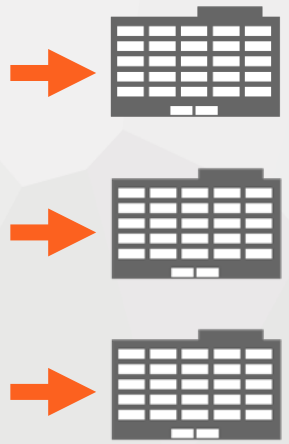
閲覧履歴

キーワード

DX
AI活用
経営戦略
2025年の崖
パンデミック
セールステック
生産性向上
働き方改革
etc



<リサーチ告知ページ>
リサーチ回答者のリードと
アンケート結果を獲得



対象ターゲットへ ターゲティングメール を活用して告知

調査設問について

4

調査

電子申請・クラウド決裁調査

提供：SBIビジネス・ソリューションズ

2020/10/21

この度、日経ビジネス読者の皆様を対象に、「電子申請・クラウド決裁調査」（提供：SBIビジネス・ソリューションズ）を実施いたします。

回答へのご協力のほど、よろしくお願いたします。

調査内容：電子申請・クラウド決裁調査

提供：SBIビジネス・ソリューションズ

回答締切：2020年10月31日

※回答が予定より多く集まった場合は、締切を早めることがあります。ご了承ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で20名様にAmazonギフト券5000円分をプレゼントいたします。

当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

Amazon.co.jpは、本プロモーションのスポンサーではありません。

Amazon、Amazon.co.jp および各行のロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

アンケート解答欄

以下のアンケートにご回答ください。

Q1. お勤め先の「電子申請・決裁関連システム」導入におけるあなたの立場をお聞かせください。（最も近いものひとつだけ）※現在システムを利用していない場合は、今後お勤め先で導入するケースを想定してご回答ください。※必須

- 最終的な決裁者
- 内容の実質的な決定者
- 導入作業の中枢メンバー
- 意見やアドバイスをする立場
- 導入には関与しない

Q2. コロナ禍の在宅勤務期間において、「紙の書類の申請・承認・送付」のために会社に社出した頻度をお聞かせください。（ひとつだけ）※必須

- 週に3日以上
- 週に2日程度
- 週に1日程度
- 月に1〜2日程度
- 月に1回来済
- まったくない

◆調査設問：10問程度

※日経BPでテーマにまつわる設問をご用意いたします。

※ご協賛につき各社1問ずつ設問を設置できます。

各社からの設問および回答内容は他の協賛社様へも提供されます。

（特定の製品・サービス、個別社にまつわる設問は不可です）

※業種、職種、所属部門、従業員数、役職は調査設問外の項目として取得します。

◆リスト獲得：200名（ノンセグメント）

◆調査対象：日経ビジネス電子版会員、および設定テーマに関する関心層

※設定テーマに応じて関連する所属部署のユーザーや関連記事の閲覧者に告知いたします。

◆謝礼：5,000円×20名様分の商品券をメールで配送

◆取得期間：4週間程度（想定）

【ご協賛社様による設問についての注意事項】

- ・主催者側および、他協賛社様との重複を回避するため、設問は2問ご用意ください。
- ・記述式の設問も可能ですが、＜任意項目＞となります。
- ・一度設問を確認させていただき、読者がスムーズに回答できるよう表現を変更させていただくことがあります。

実施テーマ・スケジュール



| リサーチテーマ | リサーチ開始日（予定） | お申込み締切 |
|--------------|----------------|----------------|
| 営業改革/セールステック | 2021年1月20日（水） | 2020年12月9日（水） |
| リーガルテック | 2021年2月24日（水） | 2021年1月27日（金） |
| サイバーセキュリティ | 2021年5月19日（水） | 2021年4月16日（金） |
| テレワーク | 2021年6月16日（水） | 2021年5月21日（金） |
| HR テック | 2021年7月14日（水） | 2021年6月18日（金） |
| 電子申請・クラウド決裁 | 2021年9月8日（水） | 2021年8月13日（金） |
| データ活用 | 2021年11月10日（水） | 2021年10月13日（金） |

※いずれのテーマも2社以上のご協賛で実施となります。

※上記テーマ・実施時期は2020年10月現在のものです。テーマ、時期が変更になる場合もございます。

※その他希望テーマや実施時期のご希望がありましたら 各担当営業までお問い合わせください。

調査結果利用リード取得タイアップ（Bプランのみ）

6

◆ ページ遷移型のリード取得タイアップになります。
⇒ 調査結果から1問をタイアップに利用できます。
※ 他協賛社様が設定した設問は使用不可

◆ リード取得件数：150件

◆ リード取得期間：12週間（想定）

◆ 記事体広告のボリュームはA4 2P程度（2500～3000文字程度）

※ サイトデザインは、日経ビジネス リードジェネレーションの定型フォーマットとなります。

※ PV、UBなどの掲載レポートはございません。

※ 誘導メニューについては、スケジュール、原稿内容の事前確認、レポートはございません。

※ 遠方取材の場合は別途出張費がかかります。

※ タイアップ掲載（リード獲得）開始日は、原則火曜日、木曜日となります。

日経ビジネス

“ウィズコロナ時代”のテレワーク 調査で見えた課題と、必要なセキュリティ対策

エッセイ：ネットワークス | 2020年6月25日

新たなセキュリティ対策アプローチとして注目される「SASE」

昨今のコロナで変化したビジネス環境。業務の形態では様々な課題が生じている。そうした中、ネットワークソリューションベンダーがエッセイ「ネットワークス（以下、HONET）」を協賛し、テレワーク（※本誌）の実態に当たり、様々な取り組み（※本誌）に関するアンケート^{※1}を行った。その結果をまとめた（※2）。

| セキュリティ対策 | 件数 |
|-------------------|-----|
| パスワードの定期的な変更 | 110 |
| 2段階認証の導入 | 95 |
| VPNの利用 | 85 |
| セキュリティソフトの導入 | 75 |
| 従業員へのセキュリティ教育 | 65 |
| クラウドサービスのセキュリティ対策 | 55 |
| ネットワークの物理的セキュリティ | 45 |

※1 テレワーク（※本誌）の実態に当たり、様々な取り組み（※本誌）に関するアンケート^{※1}を行った。
※2 調査結果（※本誌）

読者の目に留まったのが「リモートアクセス環境の強化や高機能」だ。全国版の調査ではこの課題を挙げている。最も重要視される。特にシステムやインターネットへの接続が不安定なことが、やはり最も重要な課題になっている。

※3 「IT員の働き方改革（※本誌）- 特集特刊」において記述したことが、「物と人の移動、セキュリティ対策」だ。実は、セキュリティ対策に必要な情報は、従来の働き方とテレワークで大きく異なる。昨今のクラウドシフトに加え、業務システムはモバイルで使われるケースが増えたことで、企業の内情を盗取する「漏洩攻撃」が顕著になるからだ。

システム運用だけでなく利用方法まで、徹底研修を併せてしてほしい。そのための準備はしていない。そこで、セキュリティはテレワーク開始時に「100%」に考えられるポイントとしたい。HONETのこの点に注目しており、テレワーク導入のセキュリティ強化に今すぐ取り組むべきだと判断している。

ここで注目したいのが、「SASE（Secure Access Service Edge / サービス）」の考え方である。

このSASEとは、集約で実行する「デバイス」や「場所」に関わらない、ネットワークとセキュリティの機能を統合する新しいフレームワーク。オンプレミスで完結していたセキュリティポリシーをクラウドで動かす。いつでも、どこでも必要なアプリケーションやサービスを提供できるようにする。まさに、「ワークシフトが前提のクラウド」に必要な考え方のひとつである。

SASEの考え方に乗ってテレワークの運用の実践方法も、そのメリットについても、改めて詳しく紹介する。

※1 「インターネットに向けたテレワークの発展に関する調査」（日経BP社調査：エッセイ：ネットワークス、掲載雑誌：2020年6月20日～7月3日）

「テレワークと連携が強い」は過去のものになる 30 Next Page

Aプラン（リサーチのみ）

・リード納品件数 **200件**： **150** 万円（税別）

◆リサーチ回答データをリードに付属する形で提供

◆オリジナルアンケート1問設定可能

※提供リードはノンセグメントとなります。

Bプラン（リサーチ+タイアップ）

・リード納品件数 **350件**： **350** 万円（税別）
（タイアップ掲載費・制作費込）

【取得リードの内訳】
リサーチ分：200件
+
タイアップ分：150件

◆リサーチ回答データをリードに付属する形で提供

◆オリジナルアンケート1問設定可能

◆タイアップにリサーチの結果を利用することが可能です。

※提供リードはリサーチ、タイアップ共にノンセグメントとなります。

※リサーチとタイアップのリード重複の排除は行いません。

※タイアップは通常のタイアップとは異なり本リサーチ専用のメニューとなります。

※タイアップでのリード取得期間は12週間の想定です。

注意事項・お問い合わせ



- ◆本企画は複数社協賛型企画です。協賛社の競合排除はいたしかねます。
- ◆ご提供するリードおよびリサーチ結果は協賛社様共通のものになります。
- ◆リサーチ告知メニューについては、スケジュール、内容の事前確認、レポートはございません。
- ◆リサーチ回答者のリードとリサーチ回答内容のご提供となります。リサーチ報告書はございません。
- ◆本企画で提供するリードの競合ドメイン排除はお受けできません。
- ◆Bプランのタイアップは通常のタイアップとは異なり本リサーチ専用のメニューとなります。
メニューの詳細は各営業担当までお問い合わせください。
- ◆調査データの二次利用は、ご協賛社様の自社サイト、自社セミナー、ご協賛社様が作成されるホワイトペーパー、資料などに限りご活用いただけます。
(使用時は掲出の出展標記が必須です。また掲出方法を事前に確認させていただきます)
ただし日経BP以外のメディアでの掲載、他メディア主催イベント・セミナーでのご利用はできません。

<お問い合わせ>

日経BP 経済メディア広告部

TEL 03-6811-8031

nb-ad@nikkeibp.co.jp